

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】（アカデミック分野）」

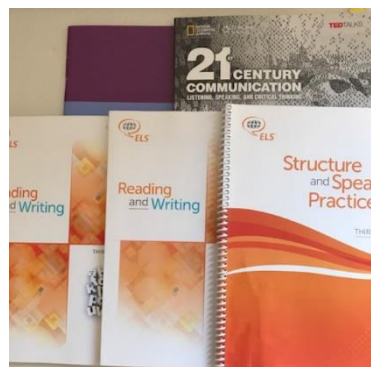
2 年 K 君

官民協働で取り組む海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」を利用し、高校 2 年の夏休みにカナダのバンクーバーへ 3 週間の留学をしました。

【留学内容】

（留学先機関）ELS Language Centers Vancouver 校

（学んだこと）アカデミック英語を集中的に学ぶコースに入りました。平日は毎日朝 9 時から午後 4 時まで英文法や英語でのプレゼンテーションの方法などを学びました。また、放課後は課外活動として一人で図書館へ行き、自分の興味のある分野のことを調べてまとめました。

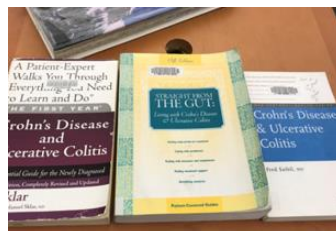


（左の写真）クラスメートの前で日本のお菓子を紹介した時のもの

（上の写真）語学学校のテキスト

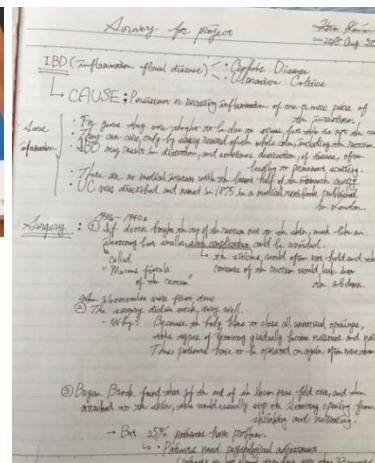


（左上の写真）課外活動で訪れた図書館



（右上の写真）図書館で読んだ本

（右の写真）まとめた資料



【留学の成果：留学を経験して学んだこと】

授業や放課後でのディベートを通して、日本とは違う価値観を得ることが出来ました。日本では相手の意見を聞くのが礼儀です、相手の話したいことが完全に終わるまでは話し出しません。しかし大半の外国人留学生は、国を問わず、彼らが疑問に思ったことを、その場ではっきりと語り手に投げかけます。最初はその行動に日本人としてあまりいい印象を持ちませんでした。が、せっかくなので彼らの価値観を受け入れ、自分も同じように問いを投げかけることにしました。すると、そうしている内にその行動の本質が見えてきました。しっかりと自分の疑問や考えを投げかけることで、最終的な結論に確実に自分も加わっている実感が得られました。

議論や討論の際に自分の意見を言わないことは議論に参加していないことと同じであること、自分の意見をはっきりと言うことは決して相手を否定しているのではなく、発展性のある素晴らしいものであることが分かりました。

【今後の展望：今後の目標】

今回の留学では、いろいろな国の人と友達になりました。例えば、留学生のほとんどが20歳以上の方で、高校生はほとんどいなかったため、夜はみんなバーへお酒を飲みに行ってしまう。でも僕は高校生なので、そのような場へ行くことさえも控えるべきだと考え、宗教上お酒を飲むことが出来ないサウジアラビアの留学生と一緒に行動しました。今回の留学までは、サウジアラビア人の友達が出来るとは想像もしていませんでしたが、面白いし優しい人達でした。友達になるのに国籍や年齢は全く関係ないと実感しました。

今回仲良くなった人達だけでなく、今後もいろいろな人達と仲良くなり、国や職業を超えたネットワークを築きたいです。そのネットワークは、将来きっと役に立つと思うからです。



(左上の写真) バンクーバーの街

(右上の2枚の写真) 友達と食べた食事

【トビタテ！留学 JAPAN に対する感想】

トビタテ！の留学と自費で行った留学とが大きく違った点は、トビタテ！の留学は、お金を出していただき、国の代表として行く留学ということで、ひとつひとつの行動に「責任」を持つよう意識出来たことです。留学中の無責任な行動は、僕個人の問題に留まらず、この制度自体の存続にもかかわる重大な問題となってしまいます。親も友達もいない海外であるからこそ自由を満喫して羽目を外すのではなく、国の代表として「責任」ある行動をとることの重要性を常に念頭に置いて「責任」ある行動を取るようになりました。また、事前研修で自分の留学計画や将来の夢を他のトビタテ生にプレゼンテーションしなければいけなかったのですが、自分自身の頼りない部分とか、あいまいな将来の夢とかを見直す良いきっかけとなりました。

最後に、壮行会や事前研修で連絡先を交換したトビタテ生は、自分とは全く違うジャンルに挑戦している人達で、学校の友達とは違う刺激を与えてくれます。トビタテ！を通じ出会った仲間とのつながりは、将来必ず自分の人生に良い影響をもたらすと思います。この仲間とのつながりは大切にしていきたいです。



(上の写真) トビタテ！留学 JAPAN【高校生コース】第4期生壮行会

【留学を志す高校生へアドバイス】

僕の見た限りの話になりますが、日本人留学生の多くは、日本人だけで固まってしまって、海外でしか得られないような貴重な経験を得られていない感じがありました。せっかく海外にまで来ているのだから、積極的に日本人以外の人達に話しかけて欲しいです。こんなことを言っている僕も最初は緊張しました。けれども、僕は勇気を出し話しかけましたし、様々な国の人と放課後は遊びにも行きました。言葉は通じなくても、こちらが積極的に仲良くしたいという態度で話しかければ、どうにかなるものです。勇気を出してほしいです。日本人の謙虚さは少し置いておいても良いと思います。

時には日本人だからって馬鹿にされることもあります。友好的な人ばかりではありません。でも、そこでも勇気を持ってほしいです。英語が話せないからとか、日本人だからとかで萎縮しては、対等な立場で相手と話しは出来ません。僕は、他国の留学生に英語で言い返せない時は、日本語で言い返してやりました。日本語が通じなくても、雰囲気は伝わるから、いざとなったら日本語で言い返せばなんとかなります。このようなことも良い経験だと前向きに捉えて、積極的に立ち向かってください。